

2. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（向山小学校区）

1) 地区内の人口状況：平成 25 年との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

	H25 年 3 月		R5 年 3 月		備考
地区全体	5,474 人	⇒	7,101 人	★1,627 人の増加	
0 歳～ 9 歳	649 人	11.9%	794 人	11.2%	525 人
10 歳～14 歳					269 人
15 歳～19 歳					314 人
20 歳～29 歳	3,594 人	65.7%	4,375 人	61.6%	798 人
30 歳～59 歳					2,931 人
60 歳～64 歳					332 人
65 歳～69 歳	1,230 人	22.5%	1,932 人	27.2%	372 人
70 歳～79 歳					944 人
80 歳以上					616 人

●全体としての人口は増加

●65 歳以上の人口数
対生産年齢人口数比
★1 人対 2.3 人

2) 丁目ごとの標高

◆谷津

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	16.3m	16 番 JR 津田沼駅南口	5.0m	22 番 7 号付近の道路	11.3m
2 丁目	13.7m	3 番 32 号付近の道路	1.8m	18 番葦切児童公園北側	11.9m
4 丁目	6.4m	3 番 1 号付近の道路	1.7m	5 番 19 号付近の道路	4.7m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁 目	揺れ		液状化	河川氾	内水氾	高潮	土砂
	全壊	半壊	全半壊	濫浸水	濫浸水	浸水	災害
谷津 1 丁目	27 棟	72 棟	0 棟	なし	10 棟	104 棟	なし
谷津 2 丁目	48 棟	120 棟	1 棟	239 棟	119 棟	515 棟	0 棟
谷津 4 丁目	10 棟	32 棟	0 棟	161 棟	184 棟	288 棟	0 棟

4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	避難所・避難場所	◆向山小学校はグラウンドの水はけが悪く、避難場所として安全かどうか不安である。
2	交通	◆谷津 2 丁目は道路が狭く、救急車や消防車などの進入が不自由である。
3	防災行政無線	◆災害時には市からの情報が欲しいが、市防災行政無線や災害放送はあまり聞こえない状態である。
4	ライフライン	◆地区内には集合住宅が多く、電気が不通になると電話・水道も使えなくなるので、ライフラインの不通が最も心配である。
5	地域の連携	◆向山小学校の避難所としての役割として、近所の方々と協力して運営していく必要がある。

5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	避難所・避難場所	◆避難所等で支援・対応を行う者（市職員、自治会・町内会、自主防災組織など）が一目で判断できるよう、服装等を統一させる。
2	避難行動	◆避難路に案内人を配置し、避難場所・避難所までの誘導を行う。
3	物資・資機材の備蓄	◆情報を得るため、ラジオ等が必要であり、そういった資機材の備蓄を進める。 ◆防災倉庫の中の物資・資機材は、定期的にチェックするよう努める。
4	災害教訓の伝承	◆様々な世代の方の災害・防災に関する知恵・情報を集結させ、また、集まった多くの情報をもっと活用するべきである。